

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2002年3月	D・Vと二次被害 －その特徴と防止に向けての議論－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2002年3月	ギャンブル依存症の病理構築と回復の過程 －語りの分析から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2002年3月	子どもの虐待防止システムにおける民間団体の役割 ～北海道における実践を例として～	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2002年3月	社会福祉サービスと契約に関する研究	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2002年3月	排除の構造の学校システムとインクルージョンの可能性について －英国の中学校のスチューデントサポートシステムを通して－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2002年3月	介護福祉士の専門性 －介護指導の視点から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2002年3月	障害者の自立に関する一考察 －療護施設利用者と自立生活者の調査を通して－	松井亮輔教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2002年3月	介護支援専門員の出自専門職によるケアマネジメントへの影響 －アセスメントの視点から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2002年3月	社会福祉政策の動向と市場原理の導入	松井二郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2002年3月	セトルメントからコミュニティ・センターへの展開 －韓国社会福祉館の実践を通じて－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2003年3月	身体障害者の権利擁護制度に関する一考察 －施設入所者と自立生活者の自立意識・権利意識の比較から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2003年3月	児童福祉対策にみる「子ども観」 －児童虐待を中心に－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2003年3月	精神障害者のリカヴァリーを支援する小規模作業所の支持的枠組み	松井亮輔教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2003年3月	日本の社会・経済政策理念に見る「公」概念の転換とその問題 ～アレントとハーバーマスの「公共性」論より～	松井二郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2003年3月	民生委員・児童委員の相談援助活動における役割葛藤の分析	杉岡直人教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2003年3月	在宅脳卒中患者の介護者における介護負担感要因の検討と考察	砂子田篤教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2003年3月	障害年金に関する研究 －障害年金の生活における位置づけ－	松井亮輔教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2003年3月	社会福祉士養成に関する一考察 ～社会福祉士一般養成施設(通信課程)に焦点を当てて～	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2004年3月	保健・医療・福祉サービスの連携についての考察	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2004年3月	日本型福祉国家の特質とその変容 ～企業主義から市場主義へ～	松井二郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2004年3月	身体障害者への自立支援における当事者の専門性 －自立生活センターでのピア・カウンセリング実践を通して－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2004年3月	ジェンダーの視点からみる女性嗜癖者の回復過程 －フェミニスト・ソーシャルワーク実践における展望に向けて－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2004年3月	在宅脳卒中患者を対象とした在宅ケアのあり方 －生活活動尺度の活用から－	砂子田篤教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2004年3月	障害文化の構築とその意義 －再生産論の視点から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2005年3月	オーストラリア障害者差別禁止法(DDA)における雇用上の「合理的調整(Reasonable Adjustment)」と「過度の負担(Unjustifiable Hardship)」 ～雇用上の配慮と制約規定～	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2005年3月	精神障害者に対する一般市民のイメージの変容 －ボランティア講座における専門職・当事者の語りをとおして－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2005年3月	重度身体障害者の自立生活における介助関係 －感情労働の視点から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2005年3月	介護支援専門員のケアマネジメント過程における葛藤解決戦略の分析 －アセスメントからケアプラン策定までの過程に焦点を合わせて－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2005年3月	居宅ケアにおけるホームヘルプサービス(訪問介護)の位置づけの検証 －介護保険制度から考える－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2005年3月	我が子との死別後の悲嘆からの回復過程について －死別体験をトラウマティックな出来事ととらえる－	米本秀仁教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2005年3月	緩和医療における遺族援助のソーシャルワーク －ミクロ・メゾシステムの連結の視点から	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2005年3月	高齢者のQOLを視点とした保健・福祉・医療の連携の研究 －地域変動期における連携の変化の視点から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2006年3月	わが国における社会福祉の公私関係の特質と今後のあり方	松井二郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2006年3月	社会復帰調整官の誕生と医療観察法対象者の福祉について －社会復帰調整官自身への調査結果をもとに－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2006年3月	地域における「子育て支援」 －「子育て支援」の再構成と、児童館の可能性－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2006年3月	高齢者虐待リスクアセスメント危険度把握へ向けた取り組み	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2006年3月	実習マネジメント能力に関する考察 －実習マネジメントコンテンツの検討を通して－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2006年3月	重症心身障害児者の在宅生活とその家族を支える支援 ～地域でその人らしく生きて行くために～	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2006年3月	介護老人福祉施設におけるリスクマネジメントの現状とその在り方について －積極的なリスク対峙によるサービスの質の向上を目指す視点から	松井二郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2006年3月	共生のまちづくりにおけるコミュニティ・レストランの可能性	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2007年3月	児童虐待を専門的に対応するには何が必要か？ －児童虐待対応を専掌する児童福祉専門職の専門性を中心に－	ネンシュティール教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2007年3月	生活保護制度改革と自立支援プログラムの可能性	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2007年3月	ダウン症候群における早期老化への対応について －R・Oアプローチを用いた、シングル・システム・デザイン－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	マクロ計画系	2007年3月	児童相談所の一時保護における長期化の問題に関する考察 －ブリティッシュコロンビア州の調査を通して－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	ミクロ実践系	2007年3月	「親の会」に対する親の認識とニーズ及び活動上の意義と課題についての検討 ～障がい児及び慢性疾患児の「親の会」の比較事例を通して～	米本秀仁教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2008年3月	知的障害者授産施設の実践構造 －エスノメソロジーとフィールドワークによる職員－利用者間の相互行為分析－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2008年3月	介護福祉士の技術熟達過程の研究 －主観的説明の分析から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2008年3月	保健医療機関におけるソーシャルワークチームの組織論的研究 －組織・官僚制と専門職生産性の観点から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2008年3月	難病としてのALSの言説に関する比較研究 －生死の条件をめぐる受動と能動に視点を当てて－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2008年3月	認知症病名告知課題に対するインフォームド・コンセントの法理的検討 －法理としての“信託・信認関係”の有用性－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2008年3月	保健医療機関における壮年期クライアントへのソーシャルワーク援助の実践的研究 －壮年期の特性とライフイベント論から－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2008年3月	健常者が抱く障害者のイメージについての基礎的研究	豊村和真教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2009年3月	介護老人福祉施設における介護事故の実態とその認識に関する事例研究 ～介護事故防止に対する新視角～	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2009年3月	高齢者虐待対応の現状と課題 ～地域包括支援センターの事例を通じて～	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2009年3月	監視され続けるリハビリテーション －障害を有する高齢者に対して行われる生命規範と社会規範のすり替えについて－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2009年3月	精神障害をもつ人の「障害との折り合い」のプロセス －精神障害をもつ人の語りを用いた質的研究－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2009年3月	部活動集団におけるリーダー、サブリーダーの影響力についての検討 －リーダーシップ行動、補佐行動、二者関係認知、集団プロトタイプ性に注目して－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2009年3月	子育て支援における“遊びの場”に関する検討	後藤恵美子教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2010年3月	女性単身高齢者の社会関係 －旧産炭地の事例から－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2010年3月	成年後見制度における身上監護の課題と社会福祉士の専門性	杉岡直人教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2010年3月	サクセスフル・エイジングとジェンダー —適応を軸に—	ネンシュティール教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2010年3月	デイケアサービスに対する消極的利用を示す高齢障害者の思考過程 M-G T Aによる分析から	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2010年3月	介護福祉士における相談援助業務の考え方と方法に関する研究 訪問介護員と特養介護職員の比較を通して	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2010年3月	親の養育行動の認知と児童の自己制御機能の関係が児童の自己効力感に与える影響	柴田利男教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2011年3月	精神障害者の就労支援における支援者の消極的態度についての研究	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2011年3月	高齢患者のリロケーション効果に関する退院支援の考察 自宅退院後のネガティブな影響に焦点を当てたリロケーション第四形態の意義	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2011年3月	苦情相談におけるインテークのプロセスに発生する困難とリスク ～運営適正化委員会相談員の経験から～	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	選択的中絶をめぐる議論についての言説分析	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2012年3月	マイノリティ化は性の多様性を承認するのか —子どもたちの多様な経験からみた支援の検討—	ネンシュティール教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	終末期医療における諸問題 —人口的水分・栄養補給方法(AHN)決定時における課題—	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2012年3月	友人関係の親密化過程におけるパーソナリティや態度の類似性・異質性認知が対人魅力に 及ぼす影響について	今川民雄教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2012年3月	小地域ネットワーク活動の類型化に関する実証的研究	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2012年3月	知的障害児・者のきょうだいへの支援構築に向けて —きょうだい同士の語りから見える相互支援の可能性—	水川喜文教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2012年3月	自立生活センターにおける介助業務の魅力と矛盾 —介助実践のフィールドワークと介助者へのインタビューから見えるもの—	水川喜文教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	グループホーム(認知症対応型共同生活介護)におけるレジデンシャルワーク —認知症高齢者グループホームにおける組織のあり方—	米本秀仁教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	北海道精神障がい者地域生活支援事業におけるピアサポーター活動の実態と専門職の課題 —アンケート調査とインタビュー調査の結果から—	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	要介護高齢者の在宅における生活の再構築に向けて ～活動に焦点を当てた在宅生活の見直し～	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	退院支援担当者のコンフリクトに関する研究 ～ソーシャルワーカーと退院調整看護師間のコンフリクトに着目して～	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2012年3月	現代家族の変化におけるアルコール依存症治療の変貌 —家族・関係者へのソーシャルワーカーの支援プロセスの研究—	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2012年3月	社会的スキル訓練による社会的スキル及び自己効力感の向上と持続的効果	栗林克匡教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2013年3月	ソーシャルワークの予防機能について —地域包括支援センターにおける社会福祉士の実践から—	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2013年3月	高齢者ホームヘルプサービスの提供ルールに関する研究	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2013年3月	地域コミュニティ形成に果たす共同住宅のあり方	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2013年3月	高齢者福祉施設における組織マネジメントと人材育成との関連性に関する研究 —「おむつゼロ」を達成した施設における取り組みを通して—	田中耕一郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2013年3月	精神障害を持つ社会的入院患者への退院—地域移行支援に関する研究 —環境のストレングスに焦点を当てたソーシャルワーク実践の意義—	中村和彦教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2013年3月	脳血管障害者の「職場定着」と「生活の安定」の意味とその関連性について —当事者・家族の語りから—	田中耕一郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2013年3月	対人不安と他者との関係が感情表出の制御に及ぼす影響	栗林克匡教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2013年3月	ユニークネス欲求が集団凝集性の認知に与える影響 —集団フォーマル性の違いに着目して—	栗林克匡教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2014年3月	ボランティアと受け入れ組織の協働に関する研究	中川純教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2014年3月	緩和ケアにおけるQOL概念に位置するスピリチュアリティの本質	久能由弥教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2014年3月	MSWIによる終末期がん患者への自己決定支援の内容とプロセスに関する研究 —心理・社会的側面の支援から—	中村和彦教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2014年3月	在宅精神障がい者への訪問支援のあり方に関する研究 —訪問看護師・精神保健福祉士との協働に焦点を当てて—	中村和彦教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2014年3月	障害者を表す語に対する大学生のイメージ	豊村和真教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	社会・発達心理学領域	2014年3月	大学生の障害者に対する意識調査 —障害者との共生において重視する要因の基礎的検討—	豊村和真教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2015年3月	地域福祉における政策形成過程への住民参加の再検討 —「提起」から「討議」の時代へ—	佐橋克彦准教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉計画学領域	2015年3月	フィリピンのソーシャルワーカーの実践とその特性 —貧困とグローバル社会における女性の二極化—	ネンシュティール教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2016年3月	「重度知的障害者」と関わるホームヘルパーの経験 —現象学的アプローチによる記述と分析を通して—	田中耕一郎教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2016年3月	身体的虐待による虐待死を防ぐためのリスクアセスメントシートの視座 —児童虐待傷害致死事件の裁判例の分析を通して—	栗山隆教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	福祉臨床学領域	2016年3月	精神障害をもつ人の「リカバリー過程」を支えるもの —ピアサポーターが語るライフストーリーの分析を基に—	中村和彦教授
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻		2018年3月	古代、疾者は如何なる存在であったか —疾者に付された意味とその構造—	田中耕一郎教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2002年3月	小学生の孤独感の類型と2つの親和動機の発達の变化について —前思春期を中心として—	豊村和真教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2002年3月	境界例的心性と社会的スキルおよび孤独感との関連性 —青年期を中心として—	遠山尚孝教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2002年3月	慢性疾患を抱えた小児のセルフ・エフィカシーおよびソーシャルサポートが療養行動に及ぼす影響について	遠山尚孝教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2002年3月	人格における自己愛傾向の病理性と健康さに関する研究	遠山尚孝教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2002年3月	自伝的記憶の体制化に関する一考察	砂子田篤教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2003年3月	前言語段階におけるコミュニケーション発達に関する研究	遠山尚孝教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2003年3月	対人恐怖心性と自己愛傾向における自己像のあり方と恥の構造に関する研究	遠山尚孝教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2003年3月	青年期における同一性・親密性の発達に影響を及ぼす父親要因に関する研究 ～性役割観を中心として～	遠山尚孝教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2004年3月	青年期の自我発達と移行対象・移行現象の関係	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2004年3月	青年の内的作業モデルと適応性に関する研究	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	社会心理学領域	2004年3月	ライフスタイルと消費者の商品情報処理との関連性	濱保久教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2004年3月	大学生の回想法によるソーシャルサポートと学校適応の関連性について	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2004年3月	育児不安を規定する諸要因の検討	後藤恵美子教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	社会心理学領域	2004年3月	恋愛関係における感情の伝達が社会的交換に及ぼす影響： 投資モデルの精緻化	今川民雄教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2005年3月	思春期の発達における親イメージの変化	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2005年3月	抑うつ傾向が潜在記憶に及ぼす影響	豊村和真教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2005年3月	風景構成法と将来展望 空間構成と風景の中の自己像からの検討	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2005年3月	対人ストレス状況における認知過程・対処行動が心理的ストレス反応に及ぼす影響について	今川民雄教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2005年3月	閉経が更年期女性に与える心理的影響 －更年期女性の女性性役割意識の揺らぎに関する一考察－	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2006年3月	楽観性は必ず適応的といえるのか －不合理な信念との関連について－	今川民雄教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2006年3月	親にとっての「子どもを持つということ」に関連が予測される諸要因の検討	後藤恵美子教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2007年3月	重要他者に対する再確認傾向および自己確証と抑うつとの関係 －抑うつスキーマの状態依存性の検討も含めて－	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2007年3月	いじめ場面における第三者の行動に関する研究 －友人関係の希薄さおよび共感性の質との関連－	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	社会心理学領域	2007年3月	大学新生における同性友人の親密化過程に関する追跡的研究	今川民雄教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2007年3月	バウムテストの諸指標の布置に関する研究	清水信介教授
社会福祉学研究科	心理学専攻	臨床心理学領域	2008年3月	対人恐怖心性と自己愛傾向の関連 －自己愛の2側面を考慮して－	清水信介教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2008年3月	幼児の行動問題と親の養育態度	清水信介教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2008年3月	教師バーンアウトの認知的要因からの検討 －イラショナル・ビリーフ, 自己効力感, ソーシャルサポートに注目して－	清水信介教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2008年3月	青年期における対人恐怖心性に関する研究 －対人態度と心理的距離の分析を通して－	清水信介教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2008年3月	青年期における自己愛と友人関係の在り方の検討 －selfobjectの視点から－	清水信介教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2008年3月	ストレスに関連した自己成長感に関する研究 －尺度の作成とメカニズムの検討－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2009年3月	ワークストレスに関する調査研究 －ワークストレスに影響を与える要因について－	田澤安弘准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2009年3月	青年期における対人関係認知と精神的健康の関連 －家族・友人に着目して－	田澤安弘准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2009年3月	推論スタイルの尺度構成の試みと抑うつモデルの検討	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2009年3月	大人の独り言の機能について	田澤安弘准教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2009年3月	過剰適応の妥当性の検討 －個人志向性・社会志向性に基づく分析	田澤安弘准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2010年3月	青年期における友人関係モデルの検討 －自律的動機づけ、共感性、自己効力感に注目して－	田澤安弘准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2010年3月	生きる意味についての研究 －死別経験の有無による内容の違いの検討と尺度構成－	田澤安弘准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2010年3月	中学校における教員の協働的風土認知に影響を及ぼす学校内コミュニケーション・ コミュニケーション資源・地域特性の検討	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2010年3月	大学生の友人関係における同調 －同調理由が適応に与える影響－	佐藤至子教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2010年3月	親の養育態度に対する認知が、自らの養育方針に及ぼす影響について －養育態度の世代間伝達のメカニズムに関する検討－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2010年3月	課題成績フィードバックが自己概念に与える影響について －自己愛傾向およびフィードバック条件を独立変数、自尊心および自己概念の変動性 を従属変数として－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2011年3月	帰属の原因再配分が自己意識的感情に及ぼす影響について	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2011年3月	特性羞恥感が状態羞恥感に及ぼす影響 －公的自意識とセルフモニタリングを媒介として－	佐藤至子教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2011年3月	青年期の対象関係の査定に関する検討 －相互自律性の観点から－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2011年3月	大学生の自己愛的脆弱性およびソーシャルサポートがストレス反応に及ぼす影響について －自己対象体験との関連を考慮して－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2012年3月	初対面の他者との沈黙状況下における意識内容の類型と影響する個人内要因の検討	佐藤至子教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2012年3月	電話相談場面で受け手が使用する応答技法によるかけ手の抱く感情の違い	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2012年3月	大学生における心理的居場所感尺度作成の試み	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2013年3月	対話による認識が健康への意識に及ぼす影響	鴨澤あかね准教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2013年3月	大学生における雨中人物画の検討	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2013年3月	カウンセリング場面における沈黙時のカウンセラーの考え・気持ち・対応の仕方 —臨床経験の違いとあいまいさへの非寛容・自尊感情との関連—	今川民雄教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2013年3月	スクールカウンセラーの学校内外における連携	牧田浩一准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2014年3月	青年期における過剰適応の心理的意味について —適応努力が生起・維持される構造とその意味づけに着目して—	鴨澤あかね准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2014年3月	過剰適応傾向と自己意識との関連 —不登校要因のひとつとして—	西山薫教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2015年3月	愛着スタイルからみた児童養護施設の子どもの特徴	牧田浩一准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2015年3月	ふれ合い恐怖的心性における自己の側面 —対人恐怖的心性との比較から—	西山薫教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2015年3月	大学生の進路選択プロセスとその体験について	牧田浩一准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2015年3月	ユーモアとフローがひらめきに与える影響	西山薫教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2016年3月	不登校経験によって生じた心理過程 —喪失体験に焦点化したインタビュー調査より—	牧田浩一准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2016年3月	レジリエンスがストレス過程に及ぼす影響とdaily-hassles / Locus of Controlとの関係 —縦断研究の視点から—	西山薫教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2017年3月	大学生の分離不安 —アタッチメントスタイルとの関連から—	牧田浩一准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2017年3月	マインドフルネスの高まりと社交不安低減の検討	田澤安弘教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2017年3月	関係的自己の可変性が対人ストレス発生過程に及ぼす影響	佐藤祐基専任講師
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2017年3月	糖尿病患者のアクセプタンスと態度の両価性がセルフケア行動、心理的負担 感に与える影響	西山薫教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文タイトル	指導教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2017年3月	謝罪失敗状態と罪悪感に関する探索的研究 －ストレス・抑うつとの関連から－	佐藤祐基専任講師
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2018年3月	大学生のADHD傾向における心理的敏感さと抑うつ症状および躁症状の関連	佐藤 祐基専任講師
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2018年3月	中学生の「心の居場所」の構造とその要素	鴨澤 あかね准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2018年3月	大学生のスピリチュアリティとアイデンティティ －情報処理スタイルに着目して－	牧田 浩一准教授
社会福祉学研究科	臨床心理学専攻		2018年3月	大学生の発達障害傾向, 抑うつが不登校傾向に及ぼす影響	佐藤 祐基専任講師
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2004年9月	福祉サービスにおける準市場化の考察 －保育サービス、介護サービス、障害者福祉サービスの比較を通して－	松井二郎教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2007年3月	高齢期リロケーション研究における「場所」の構築過程の検討 －ケアハウス入居者を情報提供者とした質的研究－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2011年3月	大学生の友人関係における親密化過程と大学生活の適応感に関する研究 －大学4年間における追跡的研究と回想的調査面接による検討－	今川民雄教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2011年3月	医的侵襲行為に対する代理決定の正当化原理に関する研究 －成年後見制度, 慣行的家族特権, 専門家パターンリズムの論理－	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2012年3月	女性嗜癖者へのフェミニスト・ソーシャルワークに関する研究 ～類型と回復過程に対する「生活支援共同体」の実践から～	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2012年3月	介護保険制度下における維持期リハビリテーションの「虚像」 －当事者、家族、専門家の「承認」をめぐる諸相	米本秀仁教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2013年9月	精神に障害のある人の権利回復 －地域移行支援事業におけるピアサポートの導入・拡大と地方精神保健福祉審議会への 精神に障害のある人の参画を中心として－	上野武治教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2014年3月	過疎地域における単身高齢者のインフォーマルサポートに関する事例研究 －介護保険サービス利用前後の変化を中心に－	杉岡直人教授
社会福祉学研究科	博士〔後期〕課程		2017年3月	在日朝鮮人散住地域における教育戦略としての朝鮮学校選択 :ポストコロニアルな社会的排除との関係において	ノンシュティール教授
社会福祉学研究科			2012年3月	ナラティブ・アプローチをもちいた自死遺族の自死者との対話的關係の再構築に関する研究 －新たな喪の作業の支援にむけて	米本秀仁教授